

平成 28 年度 事業報告

自平成 28 年 4 月 1 日

至平成 29 年 3 月 31 日

I. 事業概要

大阪府消防協会は、昭和 23 年 3 月 1 日に発足し、これまで消防力の充実強化並びに防火防災思想の普及徹底及び消防団員の福祉増進を図り、大阪の消防の発展に寄与することを目的に事業を行なってきた。公益法人制度の改革により、平成 25 年 6 月 3 日に公益財団法人大阪府消防協会へ移行し発足した後も引き続き、防火防災意識の向上と消防思想の普及促進及び消防機関相互の連携協調を密にし、消防団員等の消防知識技能の向上及び消防団等の活性化を図るとともに社会の災害防止及び公共の福祉増進に寄与するよう様々な事業に取り組んでいる。本事業報告は平成 28 年度に実施した事業について報告をする。

1. 公益目的事業 1

防火防災意識の向上及び防火防災思想の普及促進を図り、また、消防団員等の士気の高揚と団結強化を推進する事業を行うことにより、安心・安全なまちづくりに寄与した。

2. 公益目的事業 2

府民の生命、身体、財産を火災等から守るとともに各種災害による被害を軽減するため消防技術の向上及び士気の高揚及び消防団等の組織の強化を図る事業を行い、災害等に対して強固なまちづくりの実現に寄与した。

3. その他の事業

消防団員等を対象とした表彰事業並びに各種共済事業及び退団時における感謝状等の給付等の事業を行い、消防団員等の業務に対しその功績を顕彰すること、また、福利厚生を充実させることにより、士気の高揚並びに防火意識の向上を図ることに寄与した。

4. 法人の運営に関する事業

評議員会・理事会等会議の開催及び運営を行った。

平成 28 年度に実施した各事業の実施状況について以下にその説明及び実績を報告する。

II. 事業説明及び事業実績

1. 防火防災思想の普及に関する事業（公益目的事業1）

(1) 防火啓発グッズ（携帯トイレ・文具）を作成し、消防機関を通じ各種イベントにおいて府民へ随時配布した。

(2) 消防庁、公益財団法人日本消防協会、大阪府と連携し、防火ポスターを配布するなど防火防災思想の普及に努めた。

(3) 防火図画の募集・入賞者の表彰及び防火図画展を開催した。（主催：大阪府、共催：大阪府消防協会、大阪府幼年・少年・婦人等防火委員会）

①募集者数 14,703 名

②大阪府消防協会会長賞

入賞者	富田林市立高辺台小学校	浅田 恵衣
	大阪市立桃陽小学校	菱田 明沙
	柏原市立国分中学校	横山 瑞保
入選者	泉大津市立条南小学校	藤谷 清乃 他9名

③防火図画展（期間及び展示会場）

(ア) 平成 29 年 1 月 24 日（火） : ドーンセンター

(イ) 平成 29 年 1 月 30 日（月）～2 月 10 日（金） : 津波・高潮ステーション

(4) 支部において、防火図画・習字作品募集を行なったほか、防災イベント等に参加するなど防火防災活動を行った。

2. 消防殉職者の慰霊に関する事業（公益目的事業1）

(1) 大阪府消防殉職者遺族会の運営

消防殉職者の遺徳を顕彰し、遺族相互の親睦と情報交換を行った。

(2) 全国消防殉職者慰霊祭への出席

平成 28 年 9 月 29 日（木）に日本消防会館ニッショーホール（東京都港区）で行わ

れた第 35 回全国消防殉職者慰霊祭に御遺族 3 名と参加した。

3. 消防団員の教養訓練に関する事業（公益目的事業 2）

（1）基礎教育の実施

入団 3 年未満及び教育訓練未受講の消防団員を対象に、消防に関する基礎的な知識及び技術を習得し、資質の向上及び士気の高揚を図ることを目的として次のとおり実施した。

研修内容 消防法規、規律訓練、消防操法等
ところ 大阪府立消防学校及び各市町村

学 校 教 育 実 施 日	支 部 名	市 町 村 教 育 実 施 日	修 了 人 数
平成 28 年 5 月 15 日(日)	三島地区支部	年 間	87 名
平成 28 年 6 月 12 日(日)	泉南地区支部		78 名
平成 28 年 5 月 22 日(日)	豊能地区支部		43 名
平成 28 年 6 月 19 日(日)	泉北地区支部		39 名
	中河内地区支部		28 名
平成 28 年 5 月 29 日(日)	南河内地区支部		55 名
平成 28 年 6 月 26 日(日)	北河内地区支部		90 名

（2）幹部教育の実施

班長以上の階級にある幹部及び幹部昇進予定者に対して行う幹部として一般的に必要な教育訓練を行なった。

（ア）初級指導課程の実施

班長・部長級の消防団員を対象に、消防団の指導的立場に応じた訓練を次のとおり実施した。

研修内容 安全管理、訓練礼式等
ところ 大阪府立消防学校及び各市町村
実施日 学 校：平成 28 年 10 月 30 日（日）
市町村：年間
修了人数 98 名

（イ）現場指揮課程の実施

部長以上を対象に、現場の指揮について実践的な訓練を実施した。

研修内容 救助救命訓練、水災活動訓練、火災防ぎょ等
ところ 大阪府立消防学校及び各市町村
実施日 学 校：平成 28 年 10 月 23 日（日）、11 月 13 日（日）
市町村：年間
修了人数 72 名

(ウ) 分団指揮課程の実施

分団長級を対象に、消防団の分団本部等における指揮に関する訓練を実施した。

研修内容 図上訓練、安全管理等
ところ 大阪府立消防学校及び各市町村
実施日 学 校：平成 29 年 1 月 22 日（日）
市町村：年間
修了人数 65 名

(3) 専科教育「機関科」の実施

消防車輛の運行に従事し、若しくは従事する予定の者を対象に、小型ポンプ操作、運用等についての研修を次のとおり実施した。

研修内容 ポンプ運用、機関整備等
ところ 大阪府立消防学校
実施日 平成 28 年 11 月 20 日（日）
修了人数 75 名

(4) 支部消防総合訓練の実施

消防団員の団体規律の向上を図るとともに消防技術を練磨し消防力を強化するため、消防団員・車輛機械を結集し、支部単位で次のとおり実施した。

訓練内容 団体規律訓練、操法訓練等

実施日	支部名	参加団	参加人員
平成 28 年 7 月 24 日(日)	中河内地区支部	3	220 名
平成 28 年 8 月 7 日(日)	南河内地区支部	9	335 名
平成 28 年 8 月 11 日(日)	豊能地区支部	5	600 名
平成 28 年 8 月 21 日(日)	泉南地区支部	8	342 名
平成 28 年 8 月 21 日(日)	三島地区支部	5	271 名
平成 28 年 8 月 21 日(日)	北河内地区支部	7	590 名
平成 28 年 8 月 21 日(日)	泉北地区支部	5	215 名
計		42 団	2,573 名

(5) 大阪府消防大会の実施

消防団員の団体規律の向上を図るとともに消防技術を練磨し士気の高揚を図り、消防体制を強化する目的により、第 60 回大阪府消防大会を大阪府との共催により、次のとおり実施した。また、府内の消防本部や消防団の協力を得て、60 回を記念した府民向けの啓発イベントを同会場にて実施した。

① と き 平成 28 年 9 月 4 日（日）

- ② ところ 大阪府立消防学校
- ③ 参加者及び参加車両 44 消防団（大阪市・堺市災害活動支援隊含む）団員 984 名
消防自動車等 7 台
- ④ 主要内容 消防操法訓練大会（実戦放水）、分列入場行進、
啓発イベント（煙体験、地震体験、防火服着用写真撮影、
応急手当体験、熱中症対策講座など）
- ⑤ 操法訓練大会出場消防団（出場順）
（ア）ポンプ車操法の部
豊中市、岬町、吹田市、松原市、東大阪市、大東市、泉大津市
（イ）小型ポンプ操法の部
泉南市、交野市、豊能町、高石市、藤井寺市、茨木市、八尾市
- ⑥ 入賞消防団
（ア）総合優勝 南河内地区支部
（イ）ポンプ車操法の部
優 勝 松原市消防団
2 位 豊中市消防団
3 位 岬町消防団
（ウ）小型ポンプ操法の部
優 勝 豊能町消防団
2 位 藤井寺市消防団
3 位 高石市消防団
- ⑦ 操法訓練大会を円滑に実施するため次のとおり会議等を行った。
（ア）操法審査員会議
ところ 大阪府立消防学校

第 1 回	第 2 回	第 3 回
平成 28 年 6 月 16 日 (木)	平成 28 年 7 月 14 日 (木)	平成 28 年 8 月 16 日 (火)

- （イ）操法指揮者会議
と き 平成 28 年 7 月 12 日（火）
と ころ 大阪府立消防学校

- ⑧ 消防操法指導会を次のとおり実施した。
と ころ 大阪府立消防学校

実 施 日	支 部 名	ポンプ車操法	小型ポンプ操法
平成 28 年 6 月 7 日 (火)	中河内地区支部	東大阪市	八尾市
平成 28 年 6 月 8 日 (水)	北河内地区支部	大東市	交野市
平成 28 年 6 月 9 日 (木)	三島地区支部	吹田市	茨木市
平成 28 年 6 月 10 日 (金)	豊能地区支部	豊中市	豊能町
平成 28 年 6 月 13 日 (月)	泉北地区支部	泉大津市	高石市
平成 28 年 6 月 14 日 (火)	泉南地区支部	岬町	泉南市
平成 28 年 6 月 15 日 (水)	南河内地区支部	松原市	藤井寺市

(6) 全国消防操法大会への参加助成

日本消防協会主催の第 25 回全国消防操法大会に大阪府代表で豊能町消防団員が
出場するにあたり、その経費の一部を助成した。

と き 平成 28 年 10 月 14 日（金）

と ころ 南長野運動公園（長野県長野市）

(7) 消防団幹部特別研修への参加

日本消防協会主催の第43回消防団幹部特別研修に1名(南河内地区支部より推薦)を推薦し参加させた。

と き 平成29年1月10日(火)～13日(金)
と ころ 日本消防会館(東京都港区)

(8) 消防団幹部候補中央特別研修への参加

日本消防協会主催で日本消防会館(東京都港区)にて行われた、第16回消防団幹部候補中央特別研修に次のとおり推薦し参加させた。

① 男性消防団員の部

と き 平成29年2月1日(水)～3日(金)
参 加 者 3名(南河内、中河内、北河内地区支部より推薦)

② 女性消防団員の部

と き 平成29年2月15日(水)～17日(金)
参 加 者 2名(泉北、北河内地区支部より推薦)

(9) 消防大学校団長科入校促進事業の実施

消防団の資質向上を図る一環として、消防団長及び副団長が消防大学校団長科へ入校するための経費を助成した。平成28年度は4名入校した。(69・70期)

4. 消防団活性化に関する事業(公益目的事業2)

(1) 全国女性消防団員活性化大会への参加

第22回全国女性消防団員活性化北海道大会に府内女性消防団員を参加させるとともに、その費用の一部を助成した。

と き 平成28年6月3日(金)
と ころ ニトリ文化ホール(北海道札幌市)
主 催 消防庁・日本消防協会・北海道消防協会
参 加 者 女性消防団員及び幹部 30名

(2) 大阪府消防関係者合同研修会の実施

消防長、消防団長及び府市町村消防関係者を対象に、大阪府内の消防力の強化及び情報交流による活性化を図るため、次のとおり研修会を実施した。

と き 平成28年11月30日(水)
と ころ 大阪府庁新別館 大研修室
主 催 大阪府・大阪府消防協会/協 賛 大阪府下消防長会

講 演 「消防団員の入団促進に係る取り組みについて」
消防庁消防団員確保アドバイザー
広島市西消防団女性消防隊隊長 神村 登紀恵 氏
参 加 者 88名 (意見交換会 78名)

(3) 実務研修会の実施

消防団事務担当者を対象に、公務災害補償制度及び退職報償金制度に関する適正な事務の執行に資することを目的として次のとおり研修会を実施した。

と き 平成 29 年 1 月 25 日 (水)
と ころ ホテル アウリーナ大阪
主 催 大阪府消防協会・大阪市町村消防財団・
消防団員等公務災害補償等共済基金
講 演 「消防団員等公務災害補償制度及び退職報償金制度に関する事務の実務について」
消防団員等公務災害補償等共済基金 職員 2 名
参 加 者 66 名

(4) 大阪府女性消防団員連絡会議の実施

女性消防団員のかかわる事業の円滑な推進並びに相互の連携・交流を図ることを目的に、各消防団より推薦された女性消防団員の委員による会議を実施した。

と き 平成 28 年 12 月 17 日 (土)
と ころ 大阪国際交流センター 会議室
参 加 者 19 名

(5) 大阪府女性消防団員研修会の実施

大阪府内の女性消防団員を対象に、女性消防団員の活動能力の向上及び活性化を図るとともに相互の情報交換を通じて今後の女性消防団員の活動が充実発展することを目的として、次のとおり研修会を実施した。

と き 平成 28 年 7 月 10 日 (日)
と ころ ホテル モントレグラスミア大阪
講 演 「被災者への接し方 害を与えない関わり方」
兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子氏
活動発表 枚方市消防団、河南町消防団、大東市消防団
参 加 者 172 名 (意見交換会 111 名)

(6) ホームページの運用

協会の事業並びに消防団・団員の活動等の PR を積極的に行い、消防団への理解を深めてもらうため、また、防災意識の向上につながるよう情報の提供に努めた。

(7) 消防団資機材整備事業

消防団の装備を充実し地域防災力の強化を図る為、必要な資機材の整備の助成を行なった。

(8) 消防団活動PR事業

年間を通じ、消防団・団員の活動に対する府民の理解促進や消防団の機能強化に向け、大阪府及び市町村と連携しPR活動に取り組んだ。

5. 調査研究に関する事業（公益目的事業2）

(1) 管外消防事情調査の実施

先進府県の消防団の活動や運営状況等の視察・調査・意見交換等を通じ、情報収集に努め、大阪の消防団の防災力の強化促進に努めた。又、各支部においても同様に実施した。

(2) 近畿地区消防協議会への参画

消防知識技能の向上、消防諸施設の改善充実、消防活動の強化等について協議するとともに、近畿府県の連携や相互の親睦を図るなど各府県の消防協会の発展に寄与するため参画し、次のとおり会議に参加した。

① 春季会長会議

と き 平成 28 年 4 月 26 日（火）
と ころ K K R ホテル大阪

② 秋季会長会議

と き 平成 28 年 11 月 2 日（水）
と ころ K K R ホテル大阪

③ 事務局長会議

と き 平成 29 年 2 月 7 日（火）
と ころ 和歌山県 J A ビル（和歌山県和歌山市）

(3) 日本消防協会及び消防関係団体との連絡調整・会議等への参加

名 称	と き	と ころ
日本消防協会 評議員会	平成 28 年 6 月 17 日（金） 平成 29 年 3 月 7 日（火）	日本消防会館 （東京都港区）
都道府県消防協会事務局長会議	平成 29 年 2 月 28 日（火）	
ブロック別実務担当者会議	平成 28 年 7 月 13 日（水）	三ノ宮ターミナルホテル （兵庫県神戸市）

6. 表彰に関する事業（その他事業）

(1) 大阪府消防協会会長表彰の実施

常に昼夜を分かたず、府民の生命・身体・財産を護る消防団・団員の業務に対し、その功績を讃え顕彰するため、大阪府消防協会表彰規程に基づき会長表彰を行い、大阪府消防表彰式において授与した。

(2) 日本消防協会会長表彰への具申及び表彰式への参加

府内消防団員の日本消防協会会長表彰への具申を行なった。また、日本消防協会主催の第69回日本消防協会定例表彰式に出席した。

と き 平成29年3月7日(火)
と ころ 日本消防会館(東京都港区)

(3) 大阪府消防表彰式の実施

消防団・職員及び関係団体の業務に対し、その功績を讃え顕彰するため、平成28年度大阪府消防表彰式を大阪府と共催により、次のとおり実施した。

と き 平成29年3月18日(土)
と ころ エル・おおさか
受章団体・受章者は次のとおり

① 大阪府消防協会会長表彰

表 彰 旗	河南町消防団
竿 頭 綬	岬町消防団
功 績 章	15名
永年勤続章	146名
勤 続 章	237名
勤 功 章	259名
精 勤 章	311名

② 日本消防協会会長表彰

表 彰 旗	千早赤阪村消防団
竿 頭 綬	羽曳野市消防団・高槻市消防団
功 績 章	11名
精 績 章	25名
勤 続 章	87名

③ 大阪府知事表彰

表 彰 旗	高石市消防団
勤続功労章	団員60名・吏員88名
功 労 章	150名
一般消防功労表彰	17名・6団体

④ 消防庁長官表彰(消防庁長官表彰伝達)

功 労 章	団員1名・吏員17名
-------	------------

永年勤続功労章 団員 33 名・吏員 50 名

(4) 永年勤続消防団員退団表彰の実施

大阪府消防協会表彰規程に基づき、勤続 10 年以上の退職する消防団員に対して、永年の功績を讃えるため感謝状の贈呈を行なった。

該 当 団 員 240 名

(5) サンケイ新聞社提唱の「大阪の消防大賞」の表彰の推薦及び表彰式の参加

住民の安全確保のために日夜活躍する消防職・団員の功労を讃えることを目的とした「大阪の消防大賞」の表彰候補の消防団を推薦した。また、次のとおり行われた表彰式に参加した。

と き 平成 28 年 7 月 2 日 (土)
と ころ 大阪国際交流センター・大ホール
受 章 消防団員の部 (団体) 貝塚市消防団・太子町消防団

(6) 支部長表彰の実施

各支部において、優秀消防団員に対し各支部表彰規程に基づき支部長表彰を行った。

受 章 者 365 名

7. 福利に関する事業 (その他事業)

(1) 消防互助事業の実施

① 弔慰見舞金の支給

消防団員の消防防災業務中の死亡、重度障害、傷痍及び罹災に対し、大阪府消防協会弔慰見舞金支給規程に基づき支給を行なう事務を行なった。

交 付 な し

② 退団消防団長への感謝状等の贈呈

退職した消防団長に対して、その功績を讃え感謝の意を表するため、感謝状とともに記念品を贈呈した。

該 当 団 長 4 名

③ 記念品の贈呈

褒章を受章した消防団員に対して、その功績を讃え記念品を贈呈した。

藍 綬 褒 章 11 名 (春・秋)

(2) 消防団員の福祉厚生事業の実施

①消防団員等福祉共済事務

日本消防協会において、昭和44年7月1日から消防団員等の福祉共済制度が設けられ、大阪府内42消防団9,840名が加入している。その加入に際する事務並びに請求及び交付の手続き事務を行った。

交 付：入院見舞金 56 件・障害見舞金 4 件・遺族援護金 10 件・生活援護金 0 件

②消防個人年金事務

日本消防協会において行われている個人年金事業の加入促進等の事務を行なった。

③婦人消防隊員等福祉共済事務

日本消防協会において、平成4年4月1日より婦人消防隊員等の福祉共済制度が設けられ、大阪府内353名が加入している。その加入に際する事務並びに請求及び交付の手続き事務を行った。

交 付：入院見舞金 4 件

④消防育英会事務

消防育英会において行われている、消防活動により殉職又は重い障害が残った消防団員並びに消防職員の子弟に対する奨学金事業の申請等の事務を行った。また、育英会業務運営に協力した。

⑤火災共済事務

生活協同組合全日本消防人共済会において行われている火災共済事業の加入促進、また、その加入に際する事務並びに請求及び交付の手続き事務を行った。また、共済会業務運営に協力した。

加入者数 3,737 名

交 付：火災共済金 1 件

8. 記念事業（その他事業）

大阪府消防大会が60回目を迎えたことを記念しグッズを制作し販売した。

9. 法人の運営に関する事業（法人会計事業）

(1) 評議員会

次のとおり開催され、各案件について決議、承認を得た。

開催年月日	議事事項	会場
平成 28 年 6 月 16 日 (木) (第 1 回)	報告案件 平成 27 年度事業報告について 1 号議案 平成 27 年度収支決算 (案) について 2 号議案 評議員の選任について 3 号議案 理事の選任について	大阪府立消防学校 小会議室
平成 29 年 3 月 23 日 (木) (第 2 回)	1 号議案 平成 28 年度補正予算 (案) について 2 号議案 平成 29 年度事業計画 (案) について 3 号議案 平成 29 年度予算 (案) について 4 号議案 平成 29 年度市町村分担金について 5 号議案 一時借入金限度額承認等について 6 号議案 年度途中の予算の補正について 7 号議案 理事の選任について	K K R ホテル大阪 瑞宝

(2) 理事会

次のとおり開催され、各案件について決議、承認を得た。

開催年月日	議事事項	会場
平成 28 年 5 月 25 日 (水)	報告案件 会長及び業務執行理事の報告について 1 号議案 平成 27 年度事業報告 (案) について 2 号議案 平成 27 年度収支決算 (案) について 3 号議案 評議員候補者の推薦について 4 号議案 理事候補者の推薦について 5 号議案 評議員会の開催日程等について	K K R ホテル大阪 曙
平成 28 年 6 月 16 日 (木)	1 号議案 副会長の選定について 2 号議案 職務代行者の選定について	大阪府立消防学校 小会議室
平成 29 年 3 月 3 日 (金)	報 告 会長及び業務執行理事の報告について 1 号議案 平成 28 年度補正予算 (案) について 2 号議案 平成 29 年度事業計画 (案) について 3 号議案 平成 29 年度予算 (案) について 4 号議案 平成 29 年度市町村分担金について 5 号議案 一時借入金限度額承認等について 6 号議案 年度途中の予算の補正について 7 号議案 事務局長の選任について 8 号議案 理事候補者の評議員会への推薦について 9 号議案 評議員会の開催日程等について	K K R ホテル大阪 瑞宝
平成 29 年 3 月 31 日 (金)	議 案 常務理事の選定について	書面

(3) 支部長会議

支部との連携を密にし、協会事業の具体的な運営方法等を協議するため、次のとおり会議を行なった。

開催年月日	会場
平成28年 5月25日(水)(第1回)	K K R ホテル大阪 曙
平成28年 6月16日(木)(第2回)	大阪府立消防学校 小会議室
平成28年11月17日(木)(第3回)	K K R ホテル大阪 琴
平成29年 3月 3日(金)(第4回)	K K R ホテル大阪 瑞宝

上記のほか、支部長連絡会議を3回行った。

(4) 支部内団長会議

各支部において、年間を通じ支部内消防団長による会議を行なった。

(5) 消火栓標識柱の設置に関する事務

消火栓標識柱設置に伴う道路占有許可等に関する諸官庁に対する申請等事務手続きを行なった。

Ⅲ. 事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。